

主催 公益社団法人国際経済労働研究所

公開講演 2018



労働組合と 政治活動

会場:アイオス五反田(東京都)

日時:5月21日(月)

13:30~16:30

(受付 13:00~)

講師 篠田徹

早稲田大学

社会科学総合学術院 教授

(公社)国際経済労働研究所

労働・政治研究事業部 研究員

「労働組合はなぜ政治活動をするのか？」
——この問いに、あなたならどのように答えますか。

政治が日常生活と切り離せないものである以上、労働組合が政治に関わることは必然であるといえます。

本講演では、労働組合が政治に取り組む意義や必要性、社会的役割など様々な観点から検討していきます。

また、2017年の衆議院選挙や現在の政治・政党の状況も踏まえ、選挙の位置づけや取り組み方、これからの労働組合の政治活動のあり方や可能性についてお話しいたします。

次の、統一地方選挙や参議院選挙の取り組みにも役立てていただくことのできる内容です。

定員 **30**名

※ 最少催行人数に満たない場合は、延期/中止する場合がございます。予めご了承ください。

参加費

正会員 4,500円

一般 5,000円

※参加費は1名様あたりの金額です。

※「正会員」は国際経済労働研究所の正会員を指します。

お申込みお問い合わせ 公益社団法人国際経済労働研究所

TEL 06-6943-9490 URL <http://www.iewri.or.jp/>

2017年10月に行われた衆議院議員総選挙は、突然の解散に加え、民進党の分裂など組合組織として非常に難しい状況に置かれた選挙となりました。また選挙後も、次の選挙活動に向けて、どのように労働政治を進めていくべきか、先が見通しにくいことに変わりはありません。そこで今回は、講師に篠田徹氏を迎え、現状分析から今後の労働政治の在り方について語っていただきます。

研究の成果はもちろん、時事的な情報も多く用いた講演会となります。政治のご担当者の方はもちろん、今後政治にかかわる可能性がある多くの方にご参加いただける内容となっています。

講師 篠田 徹 氏

1959年生まれ。1987年、早稲田大学政治学研究科博士後期課程中退。主著『世紀末の労働運動』（岩波書店、1989）、『2025年日本の構想』（共著）（岩波書店、2000）、『米国民主党—2008年政権奪回への課題』（共著）（日本国際問題研究所、2005）。

参加費

正会員 : 4,500円
一般 : 5,000円

キャンセル規定

参加者様のご都合によるお取り消しの場合、講演会当日より14日前までのキャンセルに関しましては、参加費を全額返金いたします（振込手数料はお客様負担）。以降のキャンセルについては、全額をキャンセル料として申し受けます。キャンセル、参加者を変更される場合は、事前にご連絡ください。

※参加費は1名様あたりの金額です。

※「正会員」は国際経済労働研究所の正会員を指します。

お申込み方法（先着順・最少催行人数有）

FAX: 別紙申込用紙に必要事項をご記入のうえ、下記までお送り下さい。

FAX 06-6943-9540

メール: 別紙申込用紙に必要事項をご記入のうえ、添付していただくか、必要事項をメールに転記して送信してください。

MAIL seminar_seiji@iewri.or.jp

お申込み確認後、参加費振込先についてメールにてご連絡いたします。
参加費は所定の期日までに、指定の口座にお振込みください。

※録音・録画機器の持ち込みはご遠慮ください。

主催 公益社団法人国際経済労働研究所 労働・政治研究事業部

〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14
大阪府立労働センター4階

国際経済労働研究所

検索